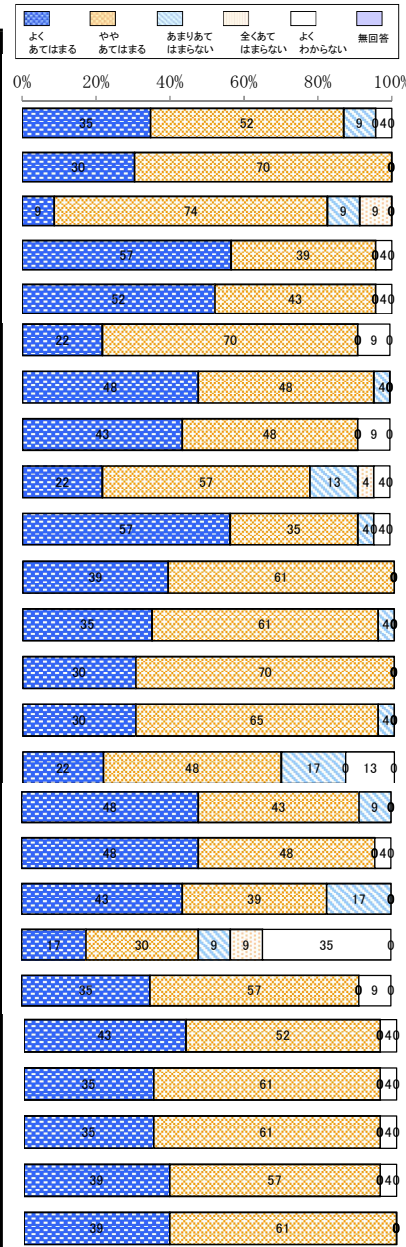


| | | アンケートの結果 | 上段：児童 下段：保護者等 グラフ：教職員 | | | | | | |
|------------|----|----------|---|----|----|----|--------|----|---|
| | | | A | B | C | D | よく分らない | 無答 | |
| 学校全体の様子 | 1 | 教育目標・方針 | 児童・生徒や保護者等と共有できるように学校の教育目標を示し、方針を説明している。 | 44 | 40 | 11 | 2 | 3 | 0 |
| | 2 | 児童・生徒の様子 | 児童・生徒は、明るく素直で、生き生きとした楽しい学校生活を送っている。 | 19 | 71 | 3 | 0 | 6 | 0 |
| | 3 | 基本的な生活習慣 | 児童・生徒の服装や通学態度、挨拶など基本的な生活習慣がしっかりしている。 | 65 | 24 | 6 | 3 | 1 | 0 |
| | 4 | 児童・生徒理解 | 児童・生徒の良さや努力しているところを見つけ、励まし、理解しながら一人一人の能力を伸ばすように努めている。 | 49 | 37 | 10 | 2 | 1 | 0 |
| | 5 | 健康・安全・安心 | 児童・生徒の健康や安全（確保・対策）に配慮するとともに、主体的に行動できる防災教育を充実している。 | 25 | 67 | 4 | 1 | 3 | 0 |
| 学力向上の取組 | 6 | 分かる授業 | 楽しく分かりやすい授業が実践されている。 | 37 | 37 | 16 | 5 | 5 | 1 |
| | 7 | 個に応じた指導 | 習熟度別学習等、児童・生徒一人一人の理解の程度に応じた学習指導が行われている。 | 39 | 53 | 3 | 1 | 4 | 0 |
| | 8 | 学習習慣 | 放課後の補充指導等を行うとともに、家庭での学習課題を提示する等、学習習慣の定着を図る工夫をしている。 | 58 | 27 | 6 | 5 | 2 | 1 |
| | 9 | 情報教育 | タブレットPCなど、ICT機器を活用した教育を推進しながら、情報活用能力の育成に向けて取り組んでいる。 | 36 | 57 | 4 | 0 | 2 | 0 |
| | 10 | 学校図書館の活用 | 読書と学習に役立つ学校図書館として活用されている。 | 52 | 31 | 10 | 3 | 2 | 1 |
| 社会性・人間性の育成 | 11 | 人権教育 | 自分を大切にし、偏見や差別を許さない豊かな人権感覚を育てる教育を行っている。 | 26 | 59 | 5 | 0 | 9 | 0 |
| | 12 | 道徳教育 | 生命を大切にする気持ちや他人を思いやる心、善悪の判断や規範意識を育てる等、道徳性をはぐくむ教育を行っている。 | 53 | 29 | 9 | 3 | 5 | 0 |
| | 13 | 教育相談 | 教育相談を充実し、いじめや不登校を防止する等児童・生徒一人一人の居場所がある学校づくりに努めている。 | 27 | 52 | 5 | 2 | 13 | 0 |
| | 14 | 人間関係づくり | 学校行事等の教育活動を工夫し、体験活動を充実させながら望ましい人間関係を築けるよう取り組んでいる。 | 71 | 16 | 8 | 2 | 2 | 0 |
| | 15 | 自治的な活動 | 学級活動や児童会・生徒会活動等で、児童・生徒が自発的・自治的に活動できるように工夫しながら指導している。 | 31 | 56 | 5 | 0 | 7 | 0 |
| 保護者・地域との連携 | 16 | 情報発信 | 学校便りや学年便り、学校ホームページ等で、保護者や地域の方に、学校の教育活動の様子を分かりやすく知らせている。 | 46 | 17 | 9 | 20 | 6 | 2 |
| | 17 | 相談への対応 | 児童・生徒や保護者からの連絡や相談を丁寧に受け止め、適切な対応をしている。 | 19 | 42 | 14 | 3 | 21 | 1 |
| | 18 | 学校への参加 | 学校公開週間や土曜授業日、学校行事等では、保護者や地域の方が参加しやすいように工夫している。 | 61 | 22 | 9 | 4 | 3 | 0 |
| | 19 | 地域との連携 | 地域の行事などに協力的で、連携を図っている。 | 32 | 45 | 15 | 2 | 5 | 0 |
| | 20 | 意見の反映 | 保護者や地域から寄せられた意見や要望を受け止め、学校運営と教育活動の改善に努めている。 | 60 | 26 | 4 | 2 | 6 | 1 |
| 各学校の特色ある教育 | 21 | 確かな学力の定着 | 放課後の学習や家庭学習の取り組みを通して、児童の確かな学力の定着のための指導を行っている。 | 25 | 61 | 5 | 0 | 9 | 0 |
| | 22 | 規範意識の向上 | 周りに流されず、自ら判断して望ましい言動ができるように、継続した指導を行っている。 | 42 | 29 | 16 | 5 | 7 | 1 |
| | 23 | 集団活動の充実 | 自己の役割を自覚し、仲間と協力できるよう集団活動の充実を図っている。 | 26 | 59 | 4 | 0 | 9 | 0 |
| | 24 | 安全意識の向上 | 危険を察知し、回避し、児童が安全な生活を送ることができるように指導を行っている。 | 54 | 21 | 11 | 7 | 7 | 0 |
| | 25 | 健康・体力の向上 | 食育や体育の指導を通して、児童の心と体の健康、体力の向上のための指導を行っている。 | 16 | 59 | 4 | 0 | 18 | 2 |

無効票を除く(%)



無効票を除く(%)

| 学校の自己評価（考察） | |
|--|--|
| 学校だより、保護者会、ホームページ等で周知した結果、児童・保護者・教職員の肯定的回答が8割を超えた。経年での推移も向上していることから、教育目標の理解が進んでいると考察される。 | |
| 児童は明るく楽しそうに生活している姿が見られると共に、児童・保護者・教職員の肯定的回答が9割を示し、経年でも向上していることから、生き生きと学校生活を送っているとの評価ができる。 | |
| 肯定的回答が8割を超え、経年でも向上していることから概ね良好と捉えるが、最上位(よくあてはまる)に重点を当てると、児童・保護者と教職員に大きな差が見られ、基本的な生活習慣について継続的な指導が必要であると考察する。 | |
| 児童・保護者・教職員共に経年で見ると向上しているが、児童の肯定的回答との差が見られ、努力したことなどをより認めてほしいと望んでいると考えられることから、より丁寧に個に応じた指導を行う必要があると考察する。 | |
| 肯定的回答は児童8割、保護者・教職員が9割を超え、また経年での推移でも向上していることから、概ね良好と捉えるが、防災や安全教育、避難訓練など更なる改善を進めていきたい。 | |
| 児童・保護者・教職員共に8割5分程度の肯定的な回答であり、経年でも見て向上していることから概ね良好とは言える。しかし、児童の否定的回答が1割を超え、教職員の最上位回答が2割であることから、更なる授業研究が必要と考察する。 | |
| 児童・保護者・教職員共に肯定的回答が8割、経年でも数値が向上していることから、習熟度別指導をはじめ、授業改善の成果と言える。今後も指導の工夫を進めたい。 | |
| 児童・保護者・教職員共に肯定的回答が8割5分を超え、あらかわ寺子屋等の取組が評価されたと考えられる。しかし保護者の最上位に視点を当てると3割であり、個に応じた課題への対応や家庭学習へのフォローがまだまだ必要である。 | |
| オンラインコンテンツの導入などの取組により、経年推移では向上している。しかし、肯定的回答が6割程度である。T P Cが一人一台の環境になることもあり、ICT機器やデジタルコンテンツの活用をより進めていく必要がある。 | |
| 肯定的回答が8割以上と読書活動に力を入れてきた成果である。調べ学習時の図書館司書によるリファレンスサービスも充実している。年間を通じての全教員による読み聞かせや校長によるブックトーク等の取組の成果も出てきていると考察する。 | |
| 肯定的回答が8割5分を超え、経年推移でも向上していることから、人権感覚を高める教育の効果が表れていると言える。ホームページでの新型コロナウイルス感染症へのいじめ対応等も功を奏していると考えられる。 | |
| 児童の否定的回答が2割超もあることから、「特別の教科 道徳」のさらに一層充実させるために、道徳性を育む教育をより実践させていかなければならないと考察する。 | |
| 肯定的回答が教職員10割に対して、児童・保護者が7割5分であることから、認識に差がある。過去に遇っても同様の傾向があり、SCや外部機関と協力し、教育相談をさらに充実させていきたい。 | |
| 概ね良好な結果であるが、きょうだい班活動などの諸活動を改善し、継続していくと共に、コロナ禍の中でどのような関わり方が適切であるのかなどを考えた上で進めていきたい。 | |
| 児童・保護者の肯定的回答は例年と同様であるが、教職員は前年度比較で15ポイント低下している。コロナ禍であっても、工夫してできることを中心に活動を広げていけるように働き掛けたい。 | |
| 昨年度までに比べ、ホームページの更新を頻繁に行った結果が出ている。しかし、児童の肯定的回答は5割程度となっていることから、児童にも分かりやすく発信していく仕組みや取組が必要であると考察する。 | |
| 児童の肯定的回答は7割5分と若干低く、潜在的に相談を必要としている児童がいることが想定されることから、引き続き個別対応を丁寧にすすめていく。 | |
| コロナ禍でありながらも、肯定的回答が8割5分程度得ることができた。制限があるなかでも体育授業の公開やZoomを活用したオンライン公開などの効果的であったと考察する。今後も状況に応じた取組を行っていく。 | |
| コロナ禍の中で地域行事も中止になる等、思うように関わりがでなかったことと理由に挙げることができるが、更なる連携を図っているよう、学校としてできることを考えていく。 | |
| 保護者の肯定的回答は6割5分である。対応したことの可視化が必要と考え、どのように解決したかなど必ず発信していくようにする。 | |
| 児童と保護者の肯定的回答が経年比較において10ポイント程度向上しており、あらかわ寺子屋の取組やデジタルコンテンツの活用等の成果といえる。 | |
| 規範意識向上に指導を丁寧に取り組んでいるところではあるが、肯定的回答について教職員と児童・保護者との20ポイントの開きがあり満足できる結果ではない。教職員間で共通理解を図り、規範意識の基盤となる学級指導の充実に向けて取り組んでいく。 | |
| コロナ禍で制限のある中で活動ではあるが、昨年度と比較し10ポイント改善されている。更なる充実に向けて、特別活動の在り方や学級で取り組み、児童への働きかけを考えていく。 | |
| 安全指導を始め生活指導に関わる取組について改善を図っているところであり、その成果が表れているのではないかと考察する。今後も、自ら安全に気を付けることを児童自身に感じさせる指導を行ってきたい。 | |
| 概ね良好な結果である。児童は休み時間など元気に外遊びをしている。持久走記録会に向けた取り組みでも、児童は生き生きと活動している様子が見られた。体力向上に向けた取り組みを継続・充実を図ってきたい。 | |